

木田 昇

佐伯市米水津「空の公園」

「新型コロナ」感染の拡大防止 県民の暮らしを守る 臨時会で補正予算を審議

経済的危機は戦後最大規模に 臨時交付金等、国の資金に加え 県財政調整用基金を取り崩して対策



国内のみならず世界全域が「新型コロナウイルス感染症」の脅威に晒されるなか、大分県議会では六月三日に急ぎよ臨時会が招集されました。

臨時会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、次の段階としての経済活動の回復との両立を見据えた対策を講じる補正予算の審議を行いました。

なお、緊急を要するため、会期は一日間として集中審議を行い、全会一致で補正予算を決定しました。

■ 社会・経済に対する影響は広範かつ深刻

補正予算を審議する臨時会の招集は、一九九二年（バブル崩壊後の景気対策予算を審議）以来じつに二十八年ぶりのことです。それだけ新型コロナウイルス感染

症による社会・経済的影響が大きいと言えます。

■ 会派代表から議案質疑を行い、補正内容を補強

今回の臨時会にあたっては、一般質問の場は設けず、県民クラブを含む四つの会派から上程議案に対する質疑を行いました。（議案質疑の内容は裏面に掲載）

■ 感染拡大防止と社会経済活動回復の両面を強化

県は、感染拡大の第二波、第三波に備え、二十四時間対応の相談窓口の設置、PCR検査体制の強化、マスク等の医療用資材の配備等を行うとしています。

戦後最大の経済危機と言われる状況下、暮らしと雇用を守りながら、社会経済活動を回復していくことも重要です。

「新型コロナ」関連対策事業概要

新型コロナウイルス感染症対策として、3つの補正予算が編成されてきました。この内から特徴ある事業を抜粋して説明します。
* 予算額は既決予算との累計

第1弾 (2019年度3月補正予算)

感染拡大防止策と医療提供体制の整備、学校の臨時休業に伴う課題等に対応するため、緊急的に対応が必要な経費などを予算化。

【予算総額】 846,148千円

1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備

① 社会福祉施設等衛生用品確保対策事業 【40,056千円】

再利用可能な布製マスクや消毒液等の衛生用品を県が一括購入し、社会福祉施設等に配布する。また、衛生用品の購入に要する経費に対し助成する。

② 感染症予防対策事業 【120,784千円】

新型コロナウイルス感染症の入院患者を受け入れる医療機関の個人防護具、体外式膜型人工肺の購入に要する経費に対し助成する。

2. 学校の臨時休業に伴って生じる課題への対応

① 生活福祉資金貸付事業 【323,389千円】

「新型コロナ」の影響で収入が減少した世帯（フリーランス、個人事業主含む）の生計等の維持を図るため、特例貸付を実施する。

② 公立学校等臨時・特別入学支度金給付事業 【273,599千円】

県内の国公立小・中・高等学校に入学する児童生徒の精神的負担の軽減及び学習意欲の醸成

を図るため、新年度からの学習準備などに活用できる商品券（1万円/人）を交付する。
* 私立学校にも同様の措置あり

3. 事業活動の縮小への対応

① おんせん県宿泊施設感染症対策強化支援事業 【61,000千円】

「新型コロナ」感染防止の効果的な強化策に取り組む宿泊施設を支援するとともに、その取組等を広く情報発信する。

第2弾 (2020年度4月補正予算)

感染拡大防止策と医療提供体制の整備や、雇用の維持と事業の継続を図るため、追加・緊急的に対応する必要があるものについて直ちに取り組む。

【予算総額】 5,071,235千円

1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備

① 県立学校等衛生用品確保対策事業 【58,877千円】

消毒液等の衛生用品を県が一括購入し、県立高等学校、中学校及び特別支援学校に配布する。また、公立幼稚園向け衛生用品の購入に要する経費に対し助成する。
* 私立学校にも同様の措置あり

② 軽症者等療養体制整備事業 【201,330千円】

感染症患者の増加に対応可能な医療体制を構築するため、無症状や軽症の患者が療養する宿泊施設及び医療従事者等を確保する。

③ 地震・津波等防災・減災対策推進事業 【150,000千円】

災害時における避難所での感染リスクの低減を図るため、避難所の衛生備品等の整備に要する経費について、市町村に対し助成する。

2. 雇用の維持と事業の継続

① 事業者向け相談センター設置事業 【10,000千円】

県民への自粛要請により影響を受ける事業者の不安を払拭するため、事業者向け相談センターを設置する。

② 小規模事業者等雇用維持支援事業 【8,940千円】

雇用調整助成金の申請にあたり、小規模事業者等を支援するため、雇用維持支援センターを設置する。

③ 飲食店を通じた感染拡大防止対策事業 【60,000千円】

飲食店の商品を配達等により応援する団体等に対し助成するとともに、飲食店のクラウドファンディングを活用した取組等を支援する。

第3弾 (2020年度6月補正予算)

緊急事態宣言の解除等により新たな局面を迎え、経済活動の回復との両立や将来を見据えた社会・経済構造の構築を図っていく。

【予算総額】 26,657,252千円

1. 感染拡大防止策と医療提供体制の整備

① 感染症予防対策事業 【3,007,163千円】

第2波に備えてPCR検査体制の充実を図るため、県内5か所にPCR検査センターを設置する。

また、感染リスクが高い手術を受ける患者等が行うPCR検査の自己負担額を助成するほか、医療用マスク等を備蓄する。

2. 次の段階としての経済活動の回復

① サービス産業の新しい生活様式移行定着支援事業 【12,300千円】

サービス産業における感染拡大の防止と社会経済活動の両立

を図るため、「新しい生活様式」への移行・定着に向けた取組を進める。

② おんせん県誘客回復推進事業 【298,525千円】

収束期に向けて、九州、中四国、関西を中心に情報発信を行うとともに、九州圏内の旅行業者と連携した割引商品を造成する。

3. 将来を見据えた社会・経済構造の構築

① おおいたスタートアップ支援事業 【158,835千円】

環境の変化に対応する小売店やサービス業等の新たなビジネス創出を促進するため、遠隔コミュニケーションツールやSNS等を活用した事業展開の指導等を行う。

② 県立学校ICT活用授業推進事業 【1,441,869千円】

県立学校のICT教育環境整備を加速するため、県立中学校、高等学校及び特別支援学校にタブレット型端末を整備するとともに、緊急時における家庭学習環境を整備する。
* 私立学校へも事業の助成措置あり

4. 安心・活力・発展プランの推進

① スペースポート推進事業 【98,473千円】

大分空港をアジア初の水平型宇宙港として活用するため、経済波及効果や施設整備等に関する調査を実施する。



全員マスクを着用して本会議へ出席

2020年第1回臨時会 議案質疑・答弁

詳細はHPから [大分県議会](#) [検索](#)

六月三日の臨時会において、会派「県民クラブ」を代表して議案質疑を行いました。
(持ち時間十分のため、次の五項目に絞って質疑)

〈質疑項目〉

- 一. 令和二年度大分県一般会計補正予算(第二号)について
- ① 新型コロナウイルス感染症に係る独自の支援策について
- ② SDGsに取り組む事業者等の支援について
- ③ 新型コロナウイルス対策の広報について
- ④ 県高校総体について

「新型コロナウイルス」に対する 県独自の支援策について

(木田) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策等について、専決処分した四月の補正予算の大半が国庫支出金を財源としたもの



で、県独自の財源を持ち出す事業はほぼ見られません。四月末の段階でも、経済的ダメージも大きく県民生活にはかなり逼迫した状況もあり、「県独自の支援策はないのか」との県民の声も聞かれました。

今上程されています六月補正予算案では、県の基金を大きく取り崩して独自の事業が多く組み込まれ安堵しております。

国の予算決定時期との関連もあると思いますが、早い段階で県独自の支援策を打ち出すことはできなかったのでしょうか。六月補正予算案に込めた知事の県独自事業に対する思いをお聞かせください。

(答弁) 緊急事態宣言も解除されるなど、新型コロナウイルスは新たな局面を迎えています。これまでの感染防止対策に加え、経済活動の回復や将来を見据えた社会・経済構造の構築に果敢に挑戦していく必要があります。財政調整用基金を思い切って活用し、経済危機を乗り越えるための積極的な対策を講じたところであり、今般の緊急対策を強力に推し進め、この困難に立ち向かっていきます。

「SDGs」に取り組む事業者等の支援について

(木田) 今回の補正予算案の編成の考え方の中に、「将来を見据えた社会・経済構造の構築を図る必要がある」とあります。人類史を振り返って見ても、十四世紀にヨーロッパで猛威を振ったペストがきっかけで、後の宗教改革やルネサンスにつながったとされ、「コロナ禍」を通じては、世界的課題となっておりSDGsに対する関心も高まると言われております。

また、「環境・社会・企業統治に配慮している企業を重視・選別して行なう投資」、「ESG投



資というものも世界の投資家は重要視しているとも聞きます。現状、事業者の当面の資金繰り等を支援することが最優先ですが、「コロナ後」の社会を展望し、補正予算であげられた各種事業で、SDGsに取り組む事業者等を支援することができないのかお尋ねします。

(答弁) SDGsに関連した社会課題の解決には、新たな技術やビジネスモデルの創出が重要な役割を担います。補正予算では、地域のIT技術者などが主体となり、地域課題の解決を目指すシビックテックを支援する事業や、県内のITベンチャー企業を活用し、地域の遠隔型ビジネスを支援する事業を予定しています。こうした事業を通して、SDGsに取り組む事業者等を支援していきます。

* SDGs: 「Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標」。国際社会全体が人間活動に伴い引き

(他の質疑内容の趣旨)

「新型コロナウイルス」対策の広報について

本県では感染症拡大を防止する「一定の移行期間」を設け、段階的に社会経済の活動レベルを引き上げるとしている。外出自粛など県民がとるべき行動の目安や、各種支援策の相談方法が分かりづらく、新聞やSNSを活用して広報してもらいたい。

「県高校総体」について

延期されていた県高校総体の開催が決定され、生徒や保護者たちに希望が湧いた。しかし「青春の一ページ」をしっかりと支援してもらいたい。

* 「災害時の避難所運営について」は、紙面左の「防災メモ」に関連の内容を記載しています。

Oita Prefectural Assembly
大分県議会 インターネット中継

県議会ホームページにて臨時会の中継録画を視聴できます

紙面の都合上、質問と答弁のすべてを紹介できず、申し訳ございません。なお、県議会HPにて今臨時会の全録画を視聴できます。
(「<http://www.oita-pref.stream.jfit.co.jp/>」 → 「会議名から選ぶ」 → 「令和2年第1回臨時会」を選択)

防災士 木田昇の 防災メモ

「感染症対策と避難行動」

今年も出水期に入りました。今回の新型コロナウイルスの状況を踏まえ、「3密を避ける」、「体温チェック」など、災害時の避難所運営マニュアルが見直しされています。

避難者一人当たりの面積を確保しようとするれば、避難所の数を増やすことも必要ですが、物理的に困難な地域も出てくるかもしれません。また、新型コロナウイルスの感染を意識するあまり、避難をためらうようなことにもなりかねません。

こうした懸念から、県は感染症対策を踏まえた避難所運営訓練を実施し、受付時の手順やゾーニング等、具体的な対応策について市町村と連携し、地域の自主防災組織と確認・検証を進めてきました。

ウイルスは目に見えず、感染の恐れを感じるかもしれませんが、自然災害は目前の脅威です。気象情報や避難情報に注意を配り、危険を感じたら躊躇することなく、避難行動をとってください。

最近の動き

4月

- ▷ 種子条例(仮称)策定準備会
- ▷ 生活総点検活動現地調査
- ▷ 緊急事態宣言が全国に発出
「新型コロナ」の影響で、全国的に「巣ごもり暮らし」が増える。(乾しシイタケと新茶を手づくり)
- ▷ 第11回県議会政策検討協議会
- ▷ 県議会福祉保健生活環境委員会



5月

- ▷ 緊急事態宣言が全国で解除
- ▷ 福祉保健生活環境委員会県内所管事務調査
「新型コロナ」感染症拡大対策のため、初の試みとしてオンライン会議形式で実施。(竹田、佐伯、宇佐、国東、日田と結んで質疑・意見交換)



6月

- ▷ 大分県拠点施設「dot.」オンライン内覧会
福岡市中心部に大分県への就職・移住相談を行う拠点施設がオープン。(呼称は「ドット」)
- ▷ 2020年第1回臨時会
- ▷ 大友氏館跡庭園が完成
大分市中心部で発掘された国指定史跡「大友氏遺跡」に400年前の庭園が復元。当時の大名館の庭園としては最大級の規模。
- ▷ 2020年第2回定例県議会開会
- ▷ 第11回県議会政策勉強会
- ▷ 連合大分「拡大政策・制度委員会」



竹の子記

二十世紀最悪と言われるパンデミック(感染症の世界的流行)の「スペイン風邪」から百年。今、人類は新たなウイルス感染症の脅威に晒されることになりました▼年初に警鐘が鳴らされたこの半年間、保健所、医療機関、介護や福祉、教育現場をはじめ、テレワークでは対応できない現場の最前線に「新型コロナウイルス」に向き合い、命と暮らしを守るため、ご尽力された皆さんへ敬意を表し、心からのエールを送りたいと思います▼国内の感染拡大は皆さんの協力で抑制され、「緊急事態宣言」が解除されたものの、この間、事業や暮らしに与えた影響は広範囲に及びダメージは大きく、経済危機としては戦後最大になると予想されます▼経済・社会の回復パターンの表現として「V字」、「U字」あるいは「レ字」と様々に表現されていますが、少なからず「V」や「U」の様に、元の位置には戻らないのではと感じています。「新たな生活様式」との言葉も生まれましたように、人々の行動や志向は確実に変化しています▼都会の人口密集地での感染拡大は「都市のリスク」を表面化させました。「二極集中」を是正し、地方に活力を生み出す好機が訪れています。今こそ創り出していかなければ。

公式LINEはコチラ
木田昇の議会・政務活動を随時更新中。

ご意見・ご要望なども、お気軽にご連絡ください!
*QRコードからお友達登録をよろしくお願いします。

県民クラブHPはコチラ
<http://www.oct-net.ne.jp/kenmin-club/>